

歴ネットイベント

「歴ネットクイズラリー」



期 間 令和7年10月4日(土)～12月26日(金)

会 場 (歴ネット施設) 史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設、瑞鳳殿、仙台市戦災復興記念館、仙台市縄文の森広場、仙台市歴史民俗資料館、仙台文学館、仙台城見聞館、地底の森ミュージアム、仙台市博物館

(問) 歴ネット事務局(仙台市博物館) ☎022-225-3074

歴ネット各施設のクイズに答えてスタンプを集めるクイズラリーに参加してみませんか!?全ての施設を巡れば“仙台通”になること間違いなしです!

歴ネットとは?

仙台市内にある歴史・文化系ミュージアム9館がつながり活動する「仙台歴史ミュージアムネットワーク」の略称です。

仙台市博物館×田子市民センター共催事業

第48回仙台市史講座 「仙台藩の足軽とその周辺 ―岩切・田子の足軽関連文書を手がかりに―」

仙台藩の足軽などについて、現在の宮城野区岩切・田子地域に関する古文書を手がかりに紹介します。

日 時 令和7年11月29日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会 場 田子市民センター(〒983-0021 仙台市宮城野区田子2丁目4-25)

定 員 40人(応募多数の場合は抽選)

講 師 高橋陽一氏(宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科 教授)

申 込 往復はがき(受付期間:令和7年11月6日(木)まで。当日消印有効)
※詳しくは田子市民センターのホームページをご覧ください。
下記までお問い合わせください。

申込制
聴講無料



田子市民センターの
ホームページはこちら

(問・申込先) 田子市民センター ☎022-254-2721

仙台市博物館友の会 令和7年度会員募集中

「仙台市博物館友の会」は、会員の歴史・美術・文化に対する教養を高め、相互の親睦を図りながら博物館活動の普及発展に寄与することを目的とする会です。

会員になると特別展(年度内に2回まで無料、3回目以降は観覧料の半額)・企画展・常設展をご覧いただけるほか、友の会だよりや博物館のお知らせなどがお手元に届きます。

会費(年額) 普通会員3,500円/学生会員2,000円
賛助会員5,000円

〈お申込み〉

郵便振替口座 02200-6-31272
仙台市博物館友の会

振替用紙の「払込人住所氏名・通信欄」に住所・氏名・職業・年齢・電話番号・会員の種別(普通会員・学生会員・賛助会員)及び新規入会希望の旨をご記入ください。

※仙台市博物館2階ミュージアムショップでも入会を受け付けています。(事務手数料として、別途220円がかかります)

博物館利用案内(10月～12月)

開館時間 9:00～16:45(入館は16:15まで)

休館日 毎週月曜日(10/13、11/3・24は開館)、
11/4・25(火)、12/28(日)～1/5(月)

※駐車場には限りがあります。
ご来館の際は公共交通機関のご利用にご協力ください。

アクセス ●仙台市地下鉄東西線ご利用の場合 「国際センター駅」下車、南1出口より徒歩約8分
●るーぶる仙台(仙台市営バス)ご利用の場合 「博物館・国際センター・緑彩館前」下車、徒歩約3分

常設展
観覧料 ●一般・大学生 460円(360円)
●高校生 230円(180円)
●小・中学生 110円(90円)

※()は30名以上の団体料金。
※このほか各種割引があります。詳しくはお問い合わせください。
※特別展観覧料は別に定めます。詳しくは中面の特別展情報をご確認ください。



仙台市

博物館
だより

vol.
218

2025.10月

2025.12月

大黒頭巾の
形の兜!!

戦場でも目立つ徳川家康所用の巨大な馬標。そして、家康が関ヶ原の戦いで着用し、大坂の陣でもそばに置いたといわれる具足です。どちらも特別展「徳川十五代将軍展」で展示します。



表紙の
資料

(左上) …… 金扇馬標 桃山～江戸時代初期(通期展示)
(右下) 重要文化財… 函采具足 桃山～江戸時代初期(後期展示:10/7～11/9)
どちらも久能山東照宮博物館蔵

〔 大きさ:金扇馬標 総長221cm
函采具足 胴高36.5cm 兜鉢高19.0cm 〕

特別展 徳川十五代将軍展

～国宝・久能山東照宮の名宝～

徳川家康をまつる久能山東照宮(静岡市)が所蔵する徳川歴代将軍ゆかりの貴重な名宝約100点を展示する特別展です。徳川家康の甲冑や愛刀、愛用の品々などをはじめ、徳川歴代将軍15代の甲冑が勢ぞろいします。江戸時代の武家文化の精髓をぜひご覧ください。

会期 9.12(金) 11.9(日)

後期展示は 10/7(火)～11/9(日)!! お見逃しなく!

会期:9月12日(金)～11月9日(日)
※前後期展示替えあり
前期:9/12～10/5、後期:10/7～11/9
※休館日:毎週月曜日(9/15・22、10/13、11/3は開館)、9/16(火)・24(水)、11/4(火) ※10/14(火)は開館

観覧料:一般1,600円、高校・大学生1,300円、小・中学生900円
※特別展の観覧券で、常設展もご覧いただけます。
※10名以上の団体は当日料金より各100円引。
※その他各種割引があります
(複数の割引を併用することはできません)

後期展示は **コ**が見どころ!

展示替えの後も見逃せない!

愛用の
メガネ

重要文化財 目器 桃山～江戸時代初期(後期展示)

家康の
遺愛品にみる
南蛮趣味



スペイン国王から
贈られた洋時計

重要文化財 洋時計 1573年製(後期展示)

ゼンマイ式の時打ち時計としては日本現存最古の時計です。

薬学への関心

薬の調合に用いたすり鉢



重要文化財 青磁鉢 乳棒
鉢:中国・明時代、乳棒[青磁]:中国・明時代、乳棒[水晶]:中国・南宋～明時代

大きい方の乳棒には水晶の頭部が付いています。

※資料はすべて久能山東照宮博物館蔵

特別展情報は
こちら



各種割引など、詳しくは特別展「徳川十五代将軍展」チラシや博物館のホームページをご覧ください。お問い合わせください。



久能山東照宮ってどんなところ?



▲久能山東照宮社殿(権現造)

久能山東照宮(静岡県静岡市駿河区)は、駿府城で75年の生涯を閉じた徳川家康をまつる神社です。駿河湾に面した、標高216メートルの久能山の山頂にあり、神社までは隣の日本平からロープウェイに乗るか、ふもとから1159段の長い石段を上っていきます。



▲一ノ門付近から見下ろす駿河湾の景色

◀久能山東照宮へと続く長い石段

特集展示 徳川家と伊達家

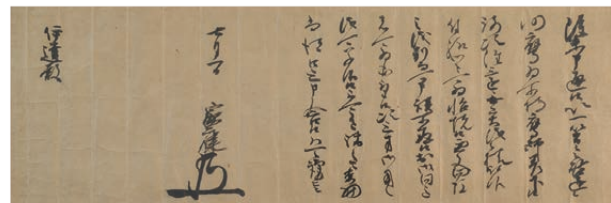
特別展「徳川十五代将軍展」に関連し、特集展示「徳川家と伊達家」を開催します。ここでは、戦国時代から江戸時代にかけての徳川家と伊達家のつながりについて、館蔵資料をもとに紹介します。



担当学芸員

ピックアップ資料!!

家康が初めて伊達家に送った手紙 /



重要文化財

徳川家康書状 (天正7年・1579)7月1日 伊達殿(輝宗)宛て (伊達家寄贈文化財)

徳川家康が伊達輝宗(政宗父)に送った手紙です。伊達領内に派遣した使者の通行保障を依頼したもので、ここから幕末まで続く両家の交流が始まります。

天璋院書状 (慶応4年・1868)7月9日 伊達宰相(慶邦)宛て(伊達家寄贈文化財)

徳川家再興を仙台藩に託す /

13代将軍徳川家定の正室であった天璋院(篤姫)が、戊辰戦争時に仙台藩主の伊達慶邦に宛てた自筆の書状です。天璋院の出身である薩摩藩を批判し、徳川家再興のため仙台藩に、新政府の「退治」を頼んでいます。



徳川家のお姫様の嫁入り道具 /



村梨地葵紋蒔絵調度のうち鏡・鏡架 江戸時代中期(聖和学園寄贈)

徳川家から6代藩主伊達宗村に嫁いだ利根姫の婚礼調度。金粉がまかれた地の上に、徳川家の家紋の葵紋を配し、金色で全体に菊模様を散らして、とても華やかです。

※資料はすべて館蔵

2025年

秋の
常設展

9/25～12/21

展示室 特集 (9月2日～11月3日)

重要文化財 黒漆五枚胴具足 伊達政宗所用



仙台市指定文化財 水玉模様陣羽織 江戸時代中期 (展示期間:11月18日～12月14日) テーマ展示室 I

収蔵資料データベースはこちら



常設展情報はこちら



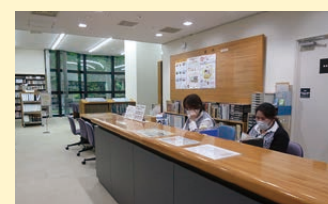
※資料はすべて館蔵

「もっと知りたい」をかなえる場所
情報資料センター

まーくん・めごちゃんによる博物館紹介

情報資料センターには、地域の歴史や美術を中心に約6,000冊の図書があり、自由に閲覧することができます。また、展覧会開催中は、関連する図書コーナーも設置しています。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

伊達政宗コーナーも
おすすめだよ!



利用のしかたがわからないときは、受け付けの人に教えてもらってね

